

# HOW TO MAKE

peta-peta pattern set

vol.10

## Sucre

材料・参考用尺(SDサイズ)



### ◇ジレ(つけえり)

- ・表地(台衿) 綿ローン等110cm幅×10cm
- ・別布(フリル)綿チュール110cm幅×10cm
- ・綿ギャザー入りレース (12mm出幅)×18.5cm
- ・トーションレース(6mm幅)×40cm
- ・リバーレース(9mm幅)×46cm
- ・リボン紐用トーションレース(7mm幅)×50cm
- ・ケミカルレース モチーフ2ヶ分
- ・飾り用ビーズ
- ・薄手のニット芯
- ・60番ミシン糸各色

### ◆必要な道具

- ・はさみ
- ・まち針・ピンクッション
- ・手縫い針
- ・ビーズ刺繍用針



SD女の子ボディを元にパターンを製作しています。  
すべて手縫いで解説していますが、部分的にミシンを使っても仕上げる事が出来ます。  
チュール端にレースをつける作業は、チュールが伸びやすい為、手縫いを推奨します。



1

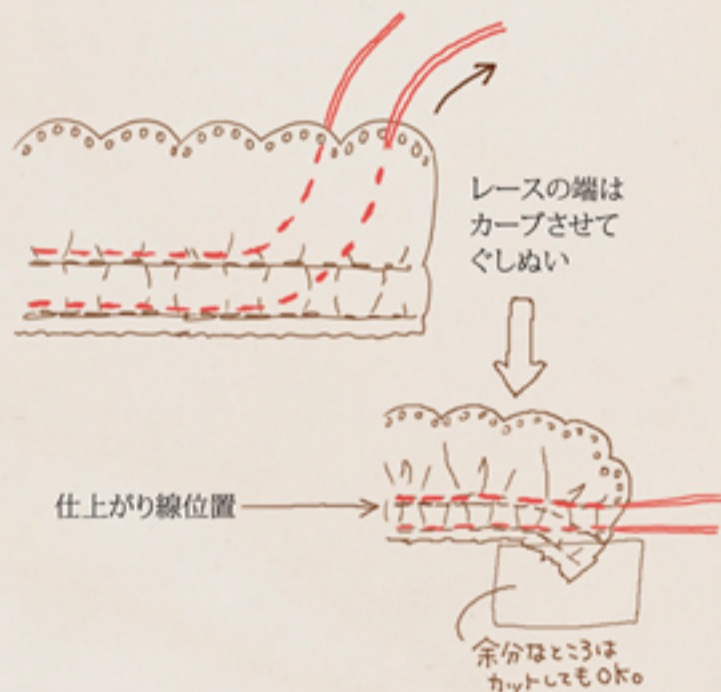
表台衿は芯を貼り、裁断します。裏台衿の下端を二つ折りして、押えステッチを入れておきます。

台衿は後でぬいしろを細くカットするので、ステッチは布端からではなく出来上がり位置より1~2mm外側あたりで玉どめをして下さい。(布端に玉どめを作ってしまうと、後のカット工程で玉どめを切り落としてしまい、ぬい目ほつれの原因になります。)



2

綿ギャザーレースのギャザー部分にぐしぬいを2本入れて、裏台衿の上側の幅に合わせて軽くギャザーをよせて縮め、中心の合印に合わせてピンでとめてぬい合せます。



3

幅の広い方の綿チュールフリル布の端に、リバーレースをなみぬいでつけます。

角の部分は額縁状に折って角をきれいに整え、斜めに重なる部分はまつりぬいしておきます。

チュールは伸びやすいので、引っばらないように注意します。(チュールを延ばしながらぬいつけてしまうと、レースの長さが足りなくなってしまうので)5~10cmずつくらい、ピンで仮止めしながらぬい進めると良いです。



# 4

チュールフリルの端にギャザーをよせるため、糸2本どりでぐしぬいを2本入れます。端から3mmに1本目、そこから5mmくらいにもう一本、平行に入れます。



# 5

表側の台衿の下側に、チュールフリルを付けます。フリル布は中心と1/4の位置にピン等で目印を付け、台衿側の合印と合わせて中表に重ねてとめて、ぐしぬい糸を2本一緒にゆっくりと引っ張り、ギャザーをよせます。



# 6

ギャザーを均一に整えたら、端から5mmの位置を返しぬいでしっかりとぬいあわせます。この時、ぬい目をひっぱりすぎるとぬいちぢんでしまうので、一針一針しっかりしごきながら平らにぬい進めます。端までぬったら、ぬい代を台衿の中に入れるように、台衿を起こしてアイロンを軽くかけて整えておきます。問題無くぬいあわせ出来たら、ギャザーよせ糸は抜いておきます。





7

表台衿と裏台衿を中表に重ねて、ぬい代幅5mmで端から端までをぬいあわせませす。

中心位置と合印位置をぴったり合わせてピンでとめておきます。



8

前中心位置は、上側につく綿ギャザーレースの端をぬい込んでしまわないように注意してください。



9

ぬいあわせたら、まず軽く表に返してみ、上記のレース端部分がうまくできたか確認してみてください。ぬいこんでしまった場合は、ほどいてやりなおしをオススメします。

大丈夫そうでしたら、ぬい代を半分くらいの細さにカットします。



10

表に返して形を整え、軽くアイロンをあてておちつかせませす。(生地によっては、指で押さえつけておくだけでもOK)



# 11

台衿裏側の下端をフリルのぬいしろにかぶせて、まつりぬいでとじます。

この部分も、ぬい縮まないように注意してください。中心と合印位置を合わせながら、少しゆるめに意識してまつると、失敗しにくいと思います。



# 12

台衿の表側、前中心部分にリボン結び用レース紐を付けます。ほつれないようににレースの端を結び、結び目をしっかりとぬいつけます。

(結び目と端は、この後上からフリルを付けて隠せます。)



# 13

上段の細幅チュールフリルを作ります。

細い方のチュール生地、トーションレースをなみぬいでつけます。

この部分も、角は額縁状に折り、角型に整えながら端から端までぬいつけ、レースが余ったらカットします。チュールを伸ばさないように丁寧にぬいあわせてください。



# 14

上端から1cmの位置に、平行にギャザーをよせます。

この部分は、ぐしぬい1本でOKです。

(2本入れてよせても、勿論OK)





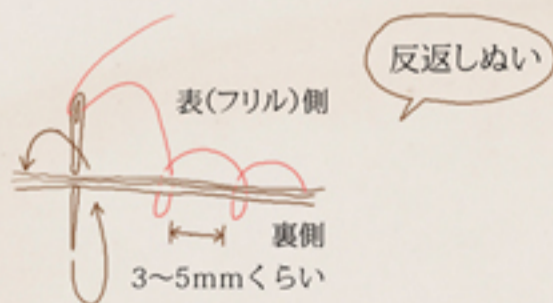
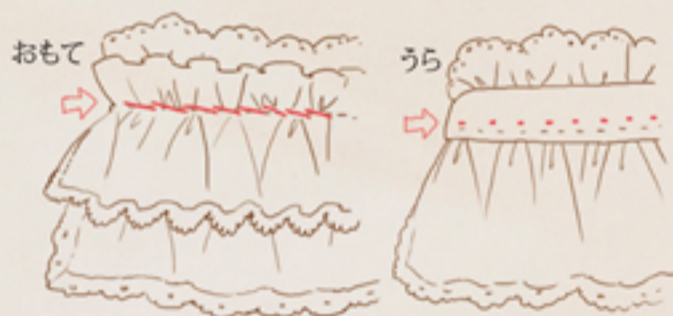
15 細幅チュールフリルを、台衿表側に付けます。  
両端、中心、1/4の合印位置をピンで合わせます。



16 ピンが抜けないようにゆっくりとギャザー糸を引き、ギャザーをよせて、均一に整えます。



17 ギャザーをよせた位置の上から、反返しぬいで台衿にぬいつけていきます。厚みがあるので一針ずつ、ざくざくと垂直に刺して、ずれたりぬい縮まったりしないように丁寧にぬいあわせます。





# 18

下段のフリルのレースの付け根あたりに、ビーズをとめつけます。ビーズのとめつけには、ビーズ刺繍用の細い針を使用してください。



# 19

前中心のリボン結びレースの付け根あたりに、ケミカルレースのモチーフを左右対になるようにぬいつけます。



# 20

完成です。お疲れさまでした。  
前中心のレースをリボン結びして、着用します。



お手持ちのお洋服にちょっと甘さをプラス…ということで「Sucre(お砂糖)」というタイトルにしました。やわらかなコットンチュールと繊細なリバーレースの質感を味わうデザイン…として考えてみましたが、チュールのフリル部分は直線のパターンなので、柔らかめの綿レースや、平チュールレースなどに変えても、より手軽に作れると思います。台衿にフリルをはさみこむだけのシンプルな形なので、色々アレンジをしても楽しんでいただけましたら幸いです。

peta-peta pattern set  
vol.10

# Sucre



peta-peta pattern  
design by yossy

<http://peta-peta.net>  
[info@peta-peta.net](mailto:info@peta-peta.net)

